

# 広瀬よしづみ

## 活動報告



## 会派“いぶき”が始動

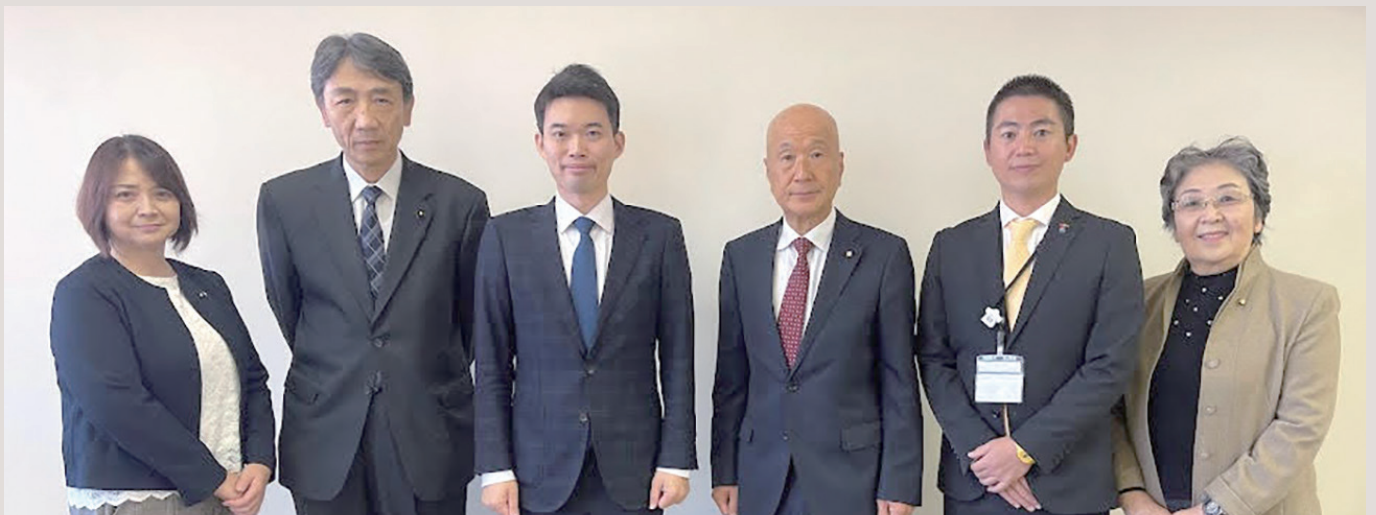
開かれた議会、市民とともに創る市政を！

昨年4月の四街道市議会議員補欠選挙で、飯豊あきひさ議員、千羽ふきこ議員が誕生しました。昨年3月までは、栗原なおや議員（4月の補欠選挙前に行われた千葉県議会議員選挙で当選）と大越とみ子議員、私の3人の会派でした。

千羽議員と飯豊議員の両名が加わり、四街道に、活気あふれる新たな風「いぶき」を吹き込む政策実現を第一とする会派が誕生しました。

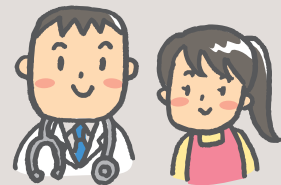
古い悪しき体質が残る中、鈴木陽介市長は、次期ごみ処理施設用地への汚染土不法投棄など、前市長の下で残された負の遺産と先送りされてきた難題に、果敢に取り組んでいます。

4人が力を合わせ協力することで相乗的な効果が生まれ大きな力を発揮できます。会派「いぶき」は、それぞれの専門性を活かし、鈴木市長とともに、厳しい時代を向かえる四街道市の未来（明日）を見通し、市民生活を支える政策の実現に奔走します。



## 超高齢化社会への対策に全力

介護福祉士の知見と地域での経験を活かす



超高齢化による「2025年問題」は、雇用や医療、福祉といった様々な分野へ多大な影響を及ぼします。四街道市は、高齢化率28%（千葉県27%）、団塊世代の構成比が高く切実な課題です。

医療施設や介護施設、医師や看護師、介護職員の数も全国平均を下回っています。また、地域の防災や防犯、地域福祉を担う、区自治会役員、民生児童委員、社会福祉協議会やボランティアなどの確保が難しくなっています。今まで福祉の担い手であった方々が、一線を離れ、次の担い手を探すのが難しくなっています

私は、介護現場で働いており、国家資格である介護福祉士を取得しました。この介護の専門家、介護現場での知見を活かし地域医療と介護施策の充実に取り組めます。また、自治会・PTA などの地域での活動経験を活かし、地域福祉の担い手を育てる制度や対策、若い人たちが地域活動に参加するための政策や環境づくりに邁進します。

具体的には、

- ①地域の拠点となる「地域包括支援センター」の拡充や人員の確保
  - ②健康づくりへの市民の関心を高める啓発活動。特に、健康診断の受診数増、運動・食事・睡眠などの生活習慣改善、週いち貯筋体操などの充実
  - ③家庭介護への支援体制強化
  - ④市内介護施設と市との連携強化
  - ⑤認知症初期の段階（軽度認知障害）での早期発見と治療体制の充実
  - ⑥レクリエーション、グランドゴルフ、ボッチャなどのスポーツ振興
- …などなど、市民のみなさんとともに、超高齢化に対応する施策の推進を引き続き進めます。

## 厚労省介護担当者へ過酷な労働実態の改善を直訴

令和6年度、介護職員報酬が2.5%アップの成果

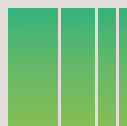
昨年1月に、厚生労働省介護部門の担当者へ、私の勤めている㈱マウントバードの副社長と栗原県議（当時市議）とともに、小西洋之参議院議員の仲介をいただき介護現場・職員の実情と運営会社の経営難の実態を説明しました。13名の担当者との濃い意見交換ができました。

その成果もあり、昨年末に、小西議員から「令和6年度に、介護職員のベースアップ分として令和6年度2.5%など介護に関わる国の予算が増える。」と連絡がありました。

今後も厚生労働省の担当者との連携を強め低賃金、人手不足で過酷な労働条件で働く介護職員の処遇改善と介護施策の改善と充実に取り組めます。



厚生労働省介護政策担当者への要望と意見交換



## 経済の活性化と財政の健全化

四街道市の財政は、厳しく楽観できません。



超高齢化による医療・介護などの扶助費が大幅増、現在建設中の市庁舎整備や狭く老朽化している消防庁舎、老朽化している小中学校校舎の大規模改修、次期ごみ処理施設建設など経費の掛る大型事業を控え財源不足は必至です。

抜本的な事業の見直しによる歳出削減と市税収入を増やすための手立てが急務です。四街道市は、都心や成田空港に近く地盤が良いことなどの利点を活かした企業誘致が可能であり、積極的な企業誘致活動が必要です。たかおの杜(旧中台、成山地区の一部)地区に大和ハウス工業が建設している流通施設の建設が進んでいます。この周辺への企業誘致のために

も国道51号線の早期4車線化が急務です。国土交通省に、この周辺の開発が、地域経済に寄与することの有効性を強くアピールする要望活動の強化が必要です。また、四街道インター周辺、ヤードの点在する大日及び鹿放ヶ丘地区の環境保護と良好な開発を促すことも重要です。住環境を守りながら、年間4億(1%)と少ない法人市民税の増額に向けた対策強化が重要です。

そして、ごみ処理施設など共有できる施策の共同運営など、近隣市との連携も含めた大胆な制度改革の履行など、徹底した行財政改革を行い経費の節減、効率的・効果的行財政運営が急務です。



## 災害に強く、犯罪を防ぐまちづくり

日頃から準備、万が一に備え市民生活を守る



元旦に発生した能登半島地震では、多くの犠牲者、行方不明者が出ています。JR四街道駅での活動など、会派「いぶき」で早期の復興を願い被災者支援の募金活動に取り組みました。ご協力をいただいた皆さんに感謝致します。

各地の被災地の方々は、日頃からの備えの大切さを教えられます。今までの震災・災害を参考とした防災対策の強化が望めます。昨年からはまった避難行動要支援者の避難支援体制の日頃からの準備、避難所運営に関わる事前準備などの対策が重要です。上下水道やガス、電気などのライフライン確保

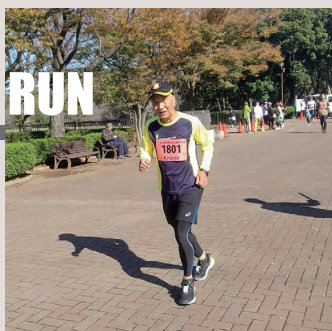
も課題となります。水や食料、トイレ、医療体制の備えも重要です。

特に、会派いぶきの会報で報告した消防本部・署の早期建替えを急ぐ必要があります。消防や救急体制の強化をはかり、災害時には拠点としての機能を発揮できる施設とし、訓練や防災を啓発する施設としての機能を充実させることも重要です。

そして、震災を利用した詐欺や特殊詐欺の数も減っておらず、電話で詐欺、特殊詐欺など悪質な詐欺被害や防犯の強化して犯罪を減らす活動も重要です。

四街道

WALLABY RUN



まだまだ現役です



鈴木市長と



ワラビー君と

## 被害40億円超、公共事業を名目に市条例を適用除外、 栗山での汚染度搬入した業者、 区画整理事業で多額の使途不明金を出した業者に利益誘導

市の試算で、損害が40億円以上となる前代未聞の次期ごみ処理場用地への汚染土砂不法投棄の真相を究明するために、地方自治法100条による調査権を付した特別委員会設置を提案、設置後委員長に就任。汚染土を搬入した業者、佐渡前市長及び当時の市の職員の尋問を行い、真相の究明を進めました。次期ごみ処理施設建設用地に、業者が膨大な量の汚染された土砂を不法投棄の発覚後に、公共事業を名目に条例を適用除外したことが判明、市内栗山で市の残土条例違反で指導を受けていた業者と鹿渡の土地区画整理で横領の不正行為を行っていた業者が埋立てをしていたことが判明しました。業者の意のま

まに市の土地に無料で土砂を埋立てさせ、業者に利益誘導し市に大損害を与えたのです。

また、業者の証言は、佐渡前市長への選挙資金として800万円を当時の再任用職員に、渡したと証言しました。受け取った本人は、親族の宅地造成のために借用したと弁明しましたが、明らかに公務員の倫理規定違反です。市が多額の損害を受けたにもかかわらず、佐渡前市長は、結果責任は認めつつも何ら責任を取っていません。鈴木市長は、この事件を受け内部調査の報告と職員の倫理条例を提案し可決しました。二度とこのような事件が起こらない市政をつくるのが、議会にも求められています。

私にとって  
思いより結果が  
第一です

市議34年間で、福祉のまちづくり宣言、JR四街道駅ホーム屋根延長、中学校給食の実現、四街道駅南口ロータリー整備、ガス事業の民営化による約35億円の基金への積み立て、バス路線つくし座循環線開設とさちが丘1丁目への路線変更及びダイヤ改正、全小中学校校舎等の建て替えと耐震化早期実現、子どもルームの全小学校への設置や増設、道路補修や交通安全対策など市民の皆さんの要望と力強い協力で実現できました。

### 広瀬よしづみプロフィール

略歴

- \* 1954年/山梨県塩山市(現甲州市)に生まれる
- \* 山梨県立機山工業高校卒業
- \* 船橋電報電話局入社(現NTT東日本)
- \* 四街道市議会議員に33歳で初当選(9期目連続当選)
- \* 市議会議長/四街道北中・栗山小PTA会長/  
四街道市監査委員/学童保育父母の会副会長/  
さつき保育園父母の会会長/  
さちが丘1丁目自治会長などを 歴任

現職

- 市議会教育民生常任委員会委員/会派「いづき」代表/  
市内グループホーム介護職員/介護福祉士/  
四街道市倫理法人会相談役/さちが丘1丁目自治会顧問/  
四街道市商工会会員/ユネスコ会員/  
千葉県地方自治研究会会員

趣味

- 詩吟/ソフトボール(グラスィズ)/グランドゴルフ/  
山登り/蕎麦うち/ジョギング(ガス灯ロードレース22回  
・ワラビーラン2回完走他)



発行者

広瀬 よしづみ

〒284-0025 四街道市さちが丘 1-22-5

TEL 043-421-1234 Mail:y.hirose4423@gmail.com